

タウンミーティング記録 未来に向けて 今、ここから

日 時 令和6年12月15日(日) 午後2時～3時30分
場 所 八丁会館 (三角町会)
参加者 20人



主な意見等

参加者 私有道における防犯灯の管理を市に移行することをお願いしたいと思います。近くの防犯灯4基のうち2つが寿命を迎えたようで、点滅がひどく、夜も眠れないとの声がありました。確認すると1つは、ふじみ野市のシールが貼ってありましたが、他の3つはなかったので自治会で管理するものだと思います。交換費用として2.8万円かかった記録があり、3機分で約9万円とすると、三角町会の会費の半分程度かかってしまいます。また、昔に発注した交換業者も廃業寸前で、市(道路課)に業者を紹介してほしいと連絡しましたが、分からないと言われてしまいました。できれば4つとも市の管理(リース管理下)に編入していただきたいと思います。

2点目として、防犯灯の新設をお願いしたいというものです。暗い部分に新しい街灯を設置していただければと思います。自分たちで設置しなければならない場合、設置費用や東京電力への申請、業者探しの問題がありますので、何とかしていただきたいです。

市長 雷等の影響で基盤が影響を受けたため、市内のいろんな箇所で点滅している話を聞いています。LED化した際に市の補助金と使ったと思われるのですが、公道については点検を進めており、私有道についても、

自治組織に対する補助金で、費用負担なしでできるかと思います。

参加者 自治組織の補助金は他の名目で使用してしまっています。それとは別に私道の防犯灯LED交換関係の補助をしていただければと思います。

市長 私道の管理は、所有者で行うのが原則ですが、現在自治組織の要綱改正をして救済措置を検討中です。ただ、管理の問題もありますので、町会レベルで行っていただければありがたいと思います。

参加者 高齢化が進み、私道の維持管理ができるか心配しています。私道を公道にしてもらうのは、幅員4メートルが条件ですか。

市長 コの字になっていても、行き止まりになっていても、道路に面する住宅が6戸隣接していて、道路の幅が4mあれば寄附採納可能です。私道は個人の財産ですが、転居する時も土地だけ移転して、私道はそのままだというパターンが多くあります。所有権不明の土地については、民法が改正され、やりやすくなりましたがまだまだ大変だと聞いております。

参加者 相続していない、人などもいなかったり、土地が共同になっていたりすることもあります。道路の幅が分からないので、まずは確認しないとかと思います。

市長 道路や防犯灯については、個別に連絡いただいて、対応を考えてまいります。

参加者 9軒ほどの住宅の中で空き家が1軒あり、ハチの巣やハクビシンを見かけました。建築課に問い合わせたら、個人情報だから教えられないと言われ、市から連絡を取ってもらいました。その後、業者の人が、少し伐採してくれたが、それっきりになってしまっています。その後の報告の連絡もありません。

市長 建築課に確認します。シルバー人材センターを紹介することもあり

ますので、事情は調べてみます。

参加者 防災訓練で三角小学校に行きました。被災者が自治体制・避難所を作らなければならないと聞いたが、マニュアルが見つかりませんでした。備品庫にあると言われましたが、分かりませんでした。現場に何もないと自治体制を作ることもできません。パニックになっている500人近くの人が避難した際、まずは1日目を乗り越えるためにそのマニュアルが必要だと思います。

市長 そもそも、震災時全員が避難所に集まるのではなく、自分の家で余震が来たら崩れてしまうという方が来ることを想定しています。緊急時に、この会館が無事であれば活用してもらいたいと思います。

参加者 連合会等でもそういう説明がありませんでした。

市長 大きな災害時は、市の職員も被災者になります。電車が動いてないという前提で徒歩や自転車で時間を図りながらの参集訓練も行っています。マニュアルについては、危機管理防災課に確認します。

参加者 家の近くに空き家があり、ハクビシン等が住み着いています。持ち主が分からなくて困っています。

市長 タウンミーティング終了後に、詳細を教えていただき、担当課に伝えます。

参加者 近くの一方通行の道路に大型車両が多く通ります。歩道がない部分もあり、児童・生徒たちが非常に危険だと思います。スピード規制、車幅規制などできないでしょうか。警察に要望していただければと思います。

市長 警察の所管になりますが、こちらからも声掛けをします。